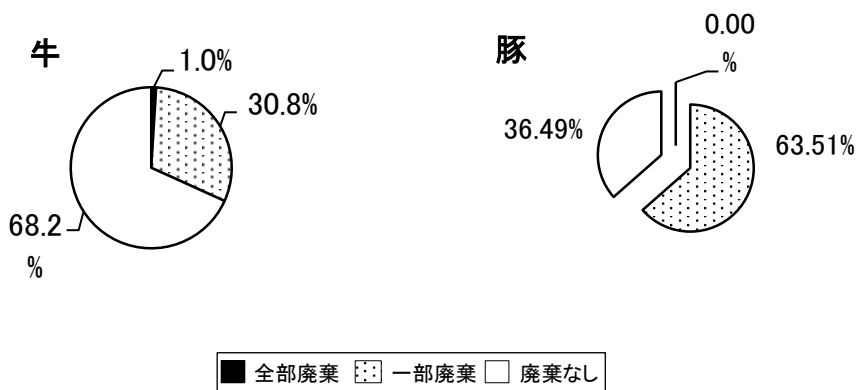


☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和7年4月～令和7年6月)

畜種	牛		とく		豚		山羊	
と畜検査頭数	916		1		16,681		1	
廃棄の区分	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄
実頭数	9	282	0	0	0	10,594	0	0
廃棄の原因	放線菌症	0	1	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	487	0
	ジストマ	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	0	0	0
	敗血症	3	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	1	0	0	0	0	0	0
	黄疸	1	0	0	0	0	0	0
	水腫	1	115	0	0	0	64	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	1	0
	炎症汚染	0	345	0	0	0	8,555	0
	変性萎縮	0	155	0	0	0	3,236	0
	牛伝染性リンパ腫	3	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	63	0	0	0	336	0
計	9	679	0	0	0	12,679	0	0

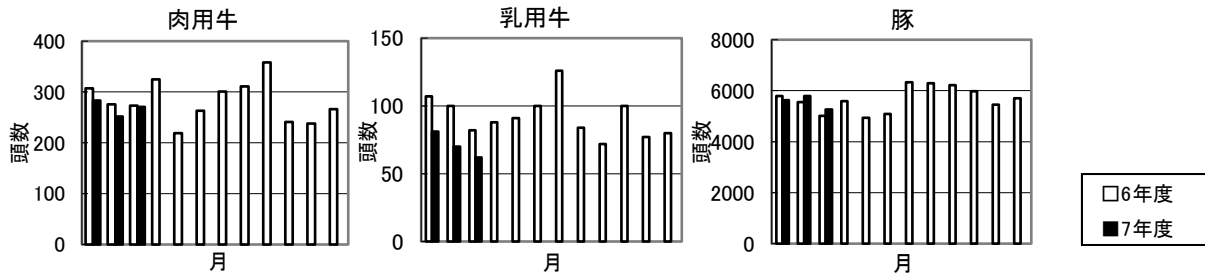
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和7年度）（とくを除く）

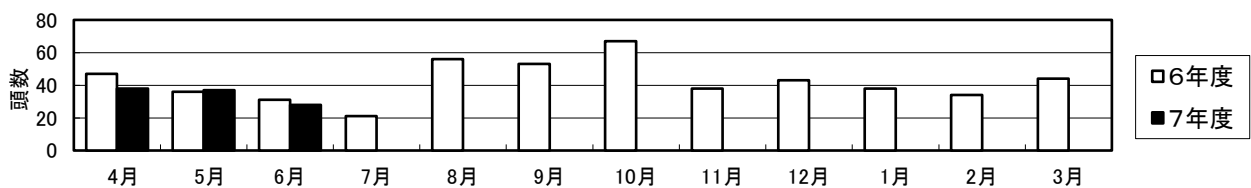
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度肉用牛	307	276	273	325	219	263	301	311	358	241	238	266	3,378
7年度肉用牛	283	252	271										806
前年比(%)	92.2	91.3	99.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.9
6年度乳用牛	107	100	82	88	91	100	126	84	72	100	77	80	1,107
7年度乳用牛	81	70	62										213
前年比(%)	75.7	70.0	75.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2
6年度豚	5794	5551	5009	5588	4943	5084	6331	6296	6221	5979	5454	5699	67,949
7年度豚	5623	5792	5266										16,681
前年比(%)	97.0	104.3	105.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.5

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和7年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度	47	36	31	21	56	53	67	38	43	38	34	44	508
7年度	38	37	27										102
前年比(%)	80.9	102.8	87.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.1



4月～6月の病獣畜102頭の内訳は、牛およびとくが74頭、豚が27頭、山羊が1頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数(令和7年4月～令和7年6月)

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
7:00～12:00	102	102	0	100.0
時間外(上記以外)	0	0	0	0.0
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	102	102	0	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数(令和7年4月～令和7年6月)

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	18	4	0	37	7	1	0	1	0	3	31	102
(うち時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭数割合(%)	17.6	3.9	0.0	36.3	6.9	1.0	0.0	1.0	0.0	2.9	30.4	

☆検査室等における精密検査（令和7年4月～令和7年6月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数							診定頭数	否診定頭数
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子	病理組織		
牛及びとく	3	敗血症			24					3	0
		膿毒症									0
	1	尿毒症					1			1	0
	1	高度の黄疸					1			1	0
	1	高度の水腫	1							1	0
	3	牛伝染性リンパ腫						3	27	3	0
		腫瘍の多発									0
	9	計	1	0	24	0	5	0	27	9	0
豚	1	敗血症			8						1
		膿毒症									0
		尿毒症									0
		高度の黄疸									0
		高度の水腫									0
		豚丹毒									0
		白血病									0
											0
	1	計	0	0	8	0	0	0	0	0	1

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和7年4月～令和7年6月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2
	病畜	74	148	74	0	0	0	0	0	0	148
豚	保留	8	16	8	0	0	0	0	0	0	16
	病畜	27	54	27	0	0	0	0	0	0	54
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	10	20	10	0
豚	27	54	27	0
鶏	0	0	0	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和7年4月～令和7年6月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所

TEL：086-272-8399

FAX：086-273-2019

E-mail：shokunikeiseikensasho@city.okayama.lg.jp

郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。

1～3ページについて、ホームページでも公開しています。

<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>